

2014 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	社会システム学科	科 目
-----------	----------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

この科目の既往データから見ても、Q4「授業時間以外の学習に1週あたりどれくらいの時間を費やしましたか」では、全学評点平均値より低い傾向にあり、今学期は全学平均 0.65 に対して 0.49 であった。

ただしこれ以外の8項目は、いずれも全学平均を上回る結果となっている。

社会システム学科科目は、他学科科目と比べて相対的に多い217クラスを抱えており、全学の科目区分においても、外国語科目の240クラスに次ぐ大科目である(登録者数では、外国語科目の6764人に対して、社会システム学科科目は7563人でもっとも多い)。クラス数が多いだけでなく、社会システム学科科目は、カバーする専門分野も多岐にわたり幅が広い。分母の大きいこれくらいの規模の大科目で、ほとんどの項目において全学平均を上回る数字が見られたのは、十分評価されるべきところだと考えられる。

そのうえ、前年度と比較した場合、Q2・4・6・7・8・9でいずれも改善が認められた。

社会システム学科科目群の授業は全体として見ると、学生から一定水準の評価が得られる授業を提供しているといえる。ただし、講義系科目の授業、とりわけ大人数の授業にはまだ改善の余地があり、Q10の10項目中7項目が全学平均を下回っているのも今後の課題として残されている。

今後は個々の教員の研鑽と努力によってさらなる改善がはかられていくべきであるが、学科としては教員にFD意識の向上を促し、FD研鑽のための環境を整えるのによりいっそうの工夫が求められている。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター